

センターサポート(PT) 中学部2年

・重度重複障がい (肢体不自由・知的障がい)

2 学期

【身体面】独歩できるが、四つ這いをすることがなかった。

【認知面】発達と運動の高次化理論 II～III水準

注視して活動ができることを目指したい。触覚防衛反応があり、手を着いたり触ったりすることは好まない。

▶相談内容

- 平衡感覚入力のためのトランポリンの跳び方を教えてください。

【課題】立って跳ぶとすぐに座り込んでしまいます。胡坐で座った状態で跳ぶか、バランスボールに座った状態で跳ぶ方がよいですか。



▶トランポリンの跳び方のポイント

・胡坐のままのトランポリンを跳ぶ時は、骨盤が倒れていないか気をつける。

・バランスボールに座って跳ぶ時は、適切なボールの大きさかどうか確かめるため、膝が90度ぐらいの角度になっているか、足の裏がしっかりついているかをチェックする。
(※頭のあたりまで両手を挙げると骨盤がおきる)

・立って跳ぶときは、腰が引けてないか確認し、安全には気をつけながらできるだけ高く跳べるようにする。

▶アドバイス

- ① 立って跳ぶと足裏からドンドンと平衡感覚の刺激が入るので立って跳べるなら立って跳んでみてください。
- ② 胡坐で跳ぶ場合、骨盤が倒れていると平衡感覚の入力が少なくなるため、骨盤が立っていることがポイント！
- ③ バランスボールに座って跳ぶのもOKです。



トランポリン開始 10 分後



Before



After

- ◎立って跳ぶことも100回以上できるようになった！
- ◎歩行がしっかりした。
- ◎四つ這い姿勢の保持時間が長くなった。
- ◎自分で椅子から立ち上がることができるようになった。
- ◎スプーンを持って自分で食事を口にもっていくことができるようになった。(平衡感覚の入力ができたため)
- ◎トランポリンの後、姿勢が良いときが増えた。



【継続課題】

△しっかり見続けること